



# 刈和野大綱米プロジェクト 綱よい



## 今年度から始まった ” 刈和野大綱米プロジェクト ”

大綱引きで有名な刈和野地区ですが、綱作りの後継者不足や稲ワラの確保が課題となっており、若い世代に身近に感じてもらおうと、このプロジェクトが立ち上がりました。当初の予定では、5月の田植えの後、秋の稲刈り、2月上旬の綱よい、2月10日の刈和野大綱引き祭りの予定でしたが、稲刈りと祭りが中止になってしまいました。

3月3日、今回作業する綱は祭りに使うものではなく、普段刈和野駅に飾っているレプリカの大綱を新しくするためのものです。本番用の半分の長さということでしたが、綱の太さに圧倒されました。できあがった大綱は、この先20年ほど大綱展示場に飾られます。新型コロナ以前は、2年生が綱よいボランティア→雄綱オスツナィアをしていましたが、生徒数の減少から今年度から1・2年生が行うことになりました。午前中は地元の中学生が雄綱を、午後は私たちが雌綱メスツナを作りまし



このように、長い綱を転がして“より”をかけていきます。手を離してしまうと“より”が戻ってしまうので、体重をかけて抑えます。**かけ声は“ジョヤサ！”**綱よいの作業は、たくさんの人数が必要なのがわかりますね。作業を指示してくれる方のかけ声で、息を合わせてゴロゴロ、何度も繰り返しました。



今年度の活動

田植え  
5月下旬

稲刈り  
秋  
**中止**

大綱引き  
2/10  
**中止**

綱よい  
3/3



綱3本に“より”をかけたら、1本に編み込んでいきます。綱を持ち上げて、反対側で待っている人に手渡し。  
う～重い、早く受け取って(^^;)



← 雌綱の連結部分を力自慢の男子が回して、さらに“より”をかけます。2年生の男子がとても頼もしく見えました。  
**ジョヤサ！もう一回！**



**マスコミ（秋田テレビさんと秋田民報さん）の取材を受けた3人**  
秋田テレビさんでは、3月4日（木）の昼の県内ニュースと夕方のLive News あきたで流れました。見てくれた人はいますか？



たくさんの人の力が必要な作業で、大変だと思いました。



伝統的な行事に少しでも関わることができて、とてもうれしい。



このような伝統は残していきたいと思いました。

